

イーソーコ 遠藤 文 代表取締役



interview

今年の事業活動を振り返ると

イーソーコグループは物流不動産を基軸とした総合ソリューション「物流不動産ビジネス」を推進している。物流に不動産、建築、IT、教育、金融などを掛け合わせ、事業領域を拡げてきた中、昨年ほどもに物流不動産ビジネスの業界化

を目指す合併会社の拡大に注力した。

合併会社や協力会社と二人三脚で、若手の人材シェアリングやITツールを活用した新たな営業に取り組み、生産性向上を図るとともに、物流+α(物流不動産ビジネス)の「シン・物流」をスロ

をはじめとした新しい収益を生み出した。

「がっちりマンデー!!」で紹介、日経新聞主催セミナー「日経MJフォーラム」に登壇のほか、会長の大谷蔵一が代表理事を務めるJALPA(日本物流不動産評価機構)では、国土交通省・ESRリートマネジメント・三菱UFJ銀行・日本通運の方々をお招きし、「不確実な変化の時代と物流不動産」をテーマにセミナーを行った。

また、物流不動産協同組合ではタカラ物流システム・元社長の大谷将夫氏をお招きし、組合の代表理事でもある大谷蔵一との「W大谷セミナー」を開催し、中小企業が儲かるノウハウについて講演した。

「シン・物流」で物流業に+αの収益を生み出す 1月にはハワイでスピーチ

ポータルサイトを刷新した背景

日本最大級の倉庫情報ポータルサイト「イーソーコ.com」をリニューアルオープンした。月間閲覧数6万人超、月間PV数60万超、20年の

歴史を持つサイトとして、多くの荷主や物流会社、3PL事業者にご利用いただいていた。今後、近年相次ぐ大型物流不動産開発などで、特に環境が激変した中小倉庫業者を後押ししていく。

サイトではスマートフォンに対応したほか、倉庫リノベーション、一時貸し、寄託などのさまざまなニーズへのマッチング機能をより強化した。ログインにGoogleとFacebookのアカウントを使えるようにし、視覚的にアイコンを取り入れて物件情報や入居条件が一目でわかるようにした。非公開登録物件数は現在約5万件、全国各地の倉庫ネットワークを活かし、これらも伸ばしていきたい。



イーソーコ.com

海外の皆様にも広く知っていただく絶好の機会と大きく期待している。

今年の抱負は女性6人男性1人の予定。女性活躍が求められている物流業界において、イーソーコグループは女性役職者も多く、物流に魅力を感じて入社する女性社員も増えてきた。男女問わず輝ける環境づくりにも今年も取り組み、ますます成長と活躍の機会を生み出していきたい。

また、物流DXを加速する。Z世代の若手社員(物流不動産ユティリティプレイヤー)たちが、現場で積極的にITを活用することで、生産性向上を図っていく。

当社と多摩地区にある共進倉庫が共同出資で設立した多摩イーソーコ

(東京・調布市)には、4人のチーム体制で若手メンバーを派遣し、ITをフル活用して業務効率化に取り組んでいる。

昨年入社した新卒社員も活躍中で、マニュアルを整備し、案件創出、庫内作業、建物管理、テナント対応などで実績を上げた。今年はい自立型AIロボットやRPA(Robotic Process Automation)の導入を検討していく。

「シン・物流」の根幹は物流であり、収益形態を多様化し、予測が困難なVUCA(フーカ)の時代に大きなチャンスを生んでいる。「まず行動ありき」の精神で、今後も物流不動産ビジネスの業界化に邁進していきたい。